

民主島根

2023年
10.8
第1434号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

志位さんと語るつどいいん島根 いろいろな疑問クリアにわかった 志位委員長 全17問の質問に答える

日本共産党県委員会は9月24日、志位和夫委員長を迎え、「志位さんと語るつどい」を開催しました。志位氏が市民から寄せられた多種多様な質問に答え、入党を呼びかける企画です。質問は、直面する政治課題や党活動に参加することへの疑問や悩み、党の綱領路線、苦闘と開拓の歴史についてなど盛りだくさん。「世の中のこと、党のこと、いろんなことがクリアにわかった」と感想を寄せ、入党を決意する人が次々と生まれました。



つどいで質問に答える志位委員長（松江市）

く批判。「日本で唯一県庁所在地に立地し、事故が起きたら住民はどこに逃げるのでしょうか。美しい宍道湖の自然が大本から失われてしまうことになりかねない」と述べました。また、島根原発は事故を起こした福島第一原発と同じ沸騰水型だと指摘。「福島事故以降、沸騰水型で動かし続けている原発は全国で一つもなく島根が最初の再稼働になり

根が最初の再稼働になりかねない。本当に無謀です」と批判しました。全17問の質問に答えた志位氏は党の歴史を振り返りながら「いま日本は変革を求めています。共産党が大きくなれば必ず日本は変えられます。どうか共産党とともに歩んでいただきたい。あなたの入党を心から呼びかけます」と訴えました。



宣伝する（左から）むらほ、大平、尾村の各氏（松江市）

大平 比例 中国地方キャラバン

9月22日から「中国地方キャラバン」に取り組んでいる日本共産党の大平よしのお衆院中国ブロック比例予定候補は最終日の1日、松江市内で活動しました。

大平氏は午前中、山陰高齢者大会に駆け付け、尾村利成県議とともに島根原発問題について報告。午後からは、むらほえりご衆院島根1区予定候補らと市内3カ所でもちかど演説。大平氏は中国電力が山口県上関町に建設しようとしている中間貯蔵施設計画をストップさせ

大國県議の一般質問

自衛隊募集「戦場の窓口にするな」



大國県議は、自衛隊員の募集業務を巡って、政府が自治体に対し、名簿の提供や募集対象者の住民基本台帳の閲覧などの働きかけを強めている問題や県内の中学・高校での自衛隊職場体験学習について取り上げました。

大國氏は、自衛隊の任務拡大で日本の若者が戦地に赴く危険が現実になりつつあると指摘し、「学校や自治体が『戦場の窓口』となることなど、あってはならない」と強調。その上で、自衛隊への名簿提供は法令上の根拠も薄弱で、自衛隊からの求めに応じる義務はなく、個人情報保護の観点から

でくらしを守ろうと訴えました。むらほ氏は「次の世代に責任を負う者として、戦争する国づくりをストップさせたい」と決意を述べました。宣伝には、尾村県議、舟木健治市議が参加しました。

鼓動

「十現金6700」「総理2800 すがっち50 幹事長3300 利100」。2019年の参院選広島選挙区を舞台にした大規模買収事件を巡り、当時の安倍政権幹部が河井克行元法相に服役中に多額の現金を提供した疑いを示すメモの存在が、中国新聞の取材で明らかになった▼冒頭は、検察当局が元法相宅で押収したA4判の紙に手書きされていた内容。総理は安倍晋三首相（昨年7月死去）、すがちは菅義偉官房長官、幹事長は二階俊博・自民党幹事長、甘利は甘利利明党選対委員長を指し、数字は金額で万単位と推察されている。メモが示す4人は、いずれも妻の案里氏に有罪確定の選挙戦に深く関わった人物▼メモが事実なら、政党から政治家個人に支出される政策活動費を疑う声が聞かれる。受け取った政治家に使途を報告する義務はなく「ブラックボックス」とされているからだ▼政治資金収報告書によれば、問題の参院選があった19年、自民党本部から二階氏へ10億円超の政策活動費が渡っている。さらに、菅氏から資金が出ていた場合、官房長官が握る官房機密費との見立てもある。こちらも支出の詳細も明らかにされない事実上の「裏のカネ」だ。大規模買収事件を教訓に与野党は一時、逮捕された国会議員の歳費支給を停止する歳費法改正を議論したが、実現せず、より本質的な政治資金の使途についての議論は乏しいまま▼地元で起きた買収事件を受け、「自民党改革」を訴えて首相の座を射止めた岸田文雄首相。そうならば、全容解明と政治資金制度改革の議論に着手するよう指示すべきだ。（遠）